

下野市立吉田西小学校



1 学校課題

学ぶ楽しさを実感し、自ら学び合う児童の育成
～魅力ある授業への改善を通して～

2 研究計画

(1) 課題設定理由

本校では、研究授業と並行して基礎・基本の定着を目指した10分間の「まなびタイム」を日課の中に設けた。また、思考力の向上を目指した「デキルヨ」の時間を設定したり、ICTの活用を図ったりして、深く考え、自分らしく表現できるような取組もしてきた。さらに、子どもたちが「わかる」「できる」が実感できる授業になるよう、当事者意識や意欲を喚起するねらいの提示の仕方や教師の発話の工夫をし、授業の改善に努めてきた。それらの成果として、授業の中で、自分の言葉で発表したり、興味をもって学習に取り組んだりする児童が増えてきた。しかし、難しい課題にも自発的に粘り強く取り組み、学び合い解決しようとするところにまでは達していない。

そこで、教科等の中で、学ぶ楽しさを実感し、主体的にめあてに向かって学び合っていく力を育成したいと考え、本課題を設定した。

(2) 研究の仮説

教育課程上の時間の使い方の工夫改善を図り、児童の実状に合った単元構成を工夫、創造し、教師の授業コーディネート力の向上を目指して授業改革を進めていけば「学ぶ楽しさを実感し、自ら学び合う児童の育成」が図れるであろう。

(3) めざす児童像

学び合える子ども

- ・学ぶべきことが分かる
- ・自分の考えや意見をもつ
- ・人の考えや意見を聞き、それを生かす

3 研究内容

(1) 研究授業・授業研究を通しての実践的な研究

授業力（単元創造力・授業構成力・授業コーディネート力）の向上のための取組

①授業研究会

期日	学年	教科・単元名	期日	学年	教科・単元名
6/27	4年	算数 わり算の筆算(2) 「何十でわるわり算」	11/21	6年	国語 筆者のものの見方をとらえ、 自分の考えをまとめよう 「鳥獣戯画を読む」
7/2	2年	国語 本はともだち お話クイズをしよう 「ミリーのすてきなぼうし」			
9/12	3年	国語 場面のうつりかわりをとら えて、感想をまとめよう 「ちいちゃんのかげおくり」	12/10	4年	算数 「変わり方」
		10/11	1年	算数 「くらべかた」	12/19

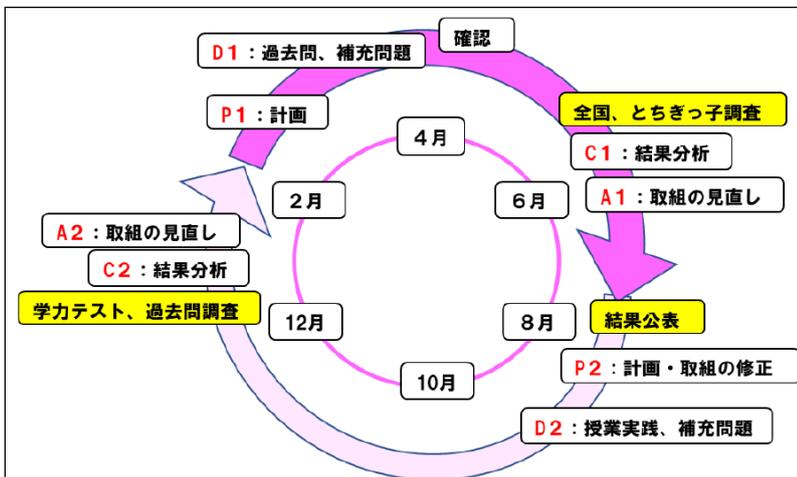
② 日常の授業

日常の授業では、重点授業として毎週1時間を週案に位置付け、今年度は、より客観的な評価ができるよう、研究にそった5観点を決め、毎回5段階で評価した。重点授業をした放課後は、授業後の話し合いをし、授業力の向上と魅力ある授業の実践を積み重ねた。

重点授業の5観点

- ① 当事者意識をもたせ、意欲を喚起する授業の目標（めあて・ねらい）を提示できたか。
- ② 振り返る活動を行ったか。
- ③ 指示や発問は明確（適切）だったか。
- ④ 授業展開の工夫をしたか。
(例)・自分の考えを書く活動を入れる。
・自分の考えを伝え合う（説明・話し合う）活動を入れる。
- ⑤ 教材研究等の授業の準備を行ったか。
(例)・板書計画
・写真・地図・挿絵・カード等の準備
・ICT 機器の活用

(2) 学力調査問題の分析と指導計画への位置付け



各学力調査問題の分析や日頃の児童の様子から本校の課題を見出し、補充問題の選択や準備、補充指導などが指導計画へ確実に位置づけられるよう、学力向上推進計画を作成した。

今年度は、調査問題や学力テストを中心に2回のPDCAサイクルを繰り返すよう計画した。それぞれの具体策が相互に関連しており、見通しを持った指導ができるようにした。

4 本年度の成果と課題

(1) 成果

- ・教師が日常の授業を改善する手立てとして授業を録音したものを分析することにより、自分自身では気付いていない、意識していない言葉の癖を把握することができた。授業の基礎・基本として改善策を考え、実践したことが授業力向上につながった。
- ・子供の実態を考えて単元の構成を考えたり、目標に合わせた授業を計画、工夫改善したりする教師の授業をコーディネートする力は、重点授業や学力向上推進リーダーとの研修を積み重ねることにより、向上させることができた。

(2) 課題

- ・今後は、本年度の成果をより深化させる取組を進めるとともに、一人一人の授業をコーディネートする力の向上を図ることによって、児童の多面的な見方や多様な考え方の伸長を図れるように努力を続けていきたい。また、学力調査問題の結果をしっかりと分析し、単元構成を考える際に生かせるように取組を進めたい。